

九条北小学校 校長室だより

NO.30 令和4年12月5日



早いもので、12月に入りました。今年も、あとひと月となりました。この1年の皆様のご協力に感謝します。

★ 5校園音楽交流会

～音楽を通して、幼稚園・小学校・中学校がつながりました！★

11月30日(水)、本校を会場に、九条地域の「5校園音楽交流会」を実施しました。3年ぶりの開催となります。最初に、それぞれの小学校の合唱と合奏を披露しました。続いて、幼稚園児による斉唱、西中学校吹奏楽部の演奏を伴奏でも元気よく歌ってくれました。最後は、西中学校吹奏楽部による演奏です。九条北小学校の3年生は、代表の「いつでも前を向いて元気に過ごしましょう！」というメッセージに続いて、歌「上を向いて歩こう」を元気な声で歌ってくれました。そして、続いて、曲「聖者の行進」をリコーダーで演奏してくれました。3年生の教室からは、休憩時間にもリコーダーの練習している音色が聞こえてきていました。この日は、しっかりと練習の成果を出してくれました。がんばりましたね！



★津波浸水サイン「浸水どうぶつものさし」で防災意識を高めよう！★

*今日の児童朝会で、次のようなお話をしました。

みなさん、このイラストを知っていますね。九条北小学校の正門入ってすぐのところ、運動場から見える校舎壁面、そして、中庭の手前にあります。すでに知っていると思いますが、**津波浸水サイン「浸水どうぶつものさし」**といいます。

実は、先週の月曜日に、NHKの関西ラジオワイドという番組で、この「浸水どうぶつものさし」をテーマにした取材があり、6年生がインタビューに答えてくれました。なぜ、九条北小学校に取材があったのかというと、8年前、当時の九条北小学校の5年生が、この「浸水どうぶつものさし」の作成にかかわったからです。当時、近いうちに来るであろうといわれている「南海トラフ地震」・・・防災訓練の時にもお話してもらっています。西区は、大阪湾に近いことから、その地震での津波による被害がたくさん出るであろうと予測されました。それを受け、西区内で活躍するデザイナーの方たちが、九条北小学校の5年生と一緒に街を歩き、児童の発見や言葉をヒントに作成したのが、「浸水どうぶつものさし」です。**「大地震は、いつ起こるかわからない。津波の危険を怖がらせずに知らせるには、生活になじみやすい青い標識がいいのでは」と考え、また、キャラクターの要素も盛り込んで、津波の高さを7種の「どうぶつ」のイラストで表現しました。**この「浸水どうぶつものさし」は、西区内の津波避難場所を中心に

100か所以上あります。

今週金曜日は、地震・津波を想定した避難訓練を予定しています。**災害は、いつ起こるのかわかりません。いざというとき、自分の身を守るように、しっかりと取り組みましょう。**

